

平成28年度

学 生 募 集 要 項

【 一 般 入 試 (前期日程・後期日程)】



長崎県立大学
UNIVERSITY OF NAGASAKI

お問い合わせ先

長崎県立大学 学生支援課 学生グループ

【経営学部・地域創造学部】佐世保校

〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123番地

Tel 0956-47-5703 / Fax 0956-47-4616

【国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部】シーボルト校

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1

Tel 095-813-5065 / Fax 095-813-5222

【目 次】

1. 理念と教育目標、学生受け入れ方針等	
(1) 長崎県立大学の理念と教育目標、学生受け入れ方針	1
(2) 経営学部	2
(3) 地域創造学部	4
(4) 国際社会学部	6
(5) 情報システム学部	8
(6) 看護栄養学部	10
2. 募集人員	13
3. 出願資格	14
4. 出願手続	15
5. 個別学力検査等	18
6. 合格発表	25
7. 入学手続	25
8. 追加合格	26
9. 身体に障害のある入学志願者との協議	26
10. 初年度納付金等	26
11. 奨学金、授業料の減免等	27
12. 個別の入学資格審査	28
13. 入試情報開示	28
14. 採点・評価基準及び合否判定基準	29
15. 高等学校等コード表	31

1 理念と教育目標、学生受け入れ方針等

(1) 長崎県立大学の理念と教育目標、学生受け入れ方針

◆長崎県立大学の理念と教育目標

長崎県立大学は、「人間を尊重し平和を希求する精神を備えた創造性豊かな人材の育成」、「長崎に根ざした新たな知の創造」、「大学の総合力に基づく地域社会及び国際社会への貢献」を基本理念として掲げています。

このため、人間を尊重し世界の平和を希求する精神を基本に、深い洞察力と実践力を備えた感性豊かな人材を育成します。また、理論と実践を融合した高度な教育研究を推進するとともに、長崎の地理的・歴史的・文化的特性を踏まえた新たな知の創造を目指します。

さらに、社会における諸問題に大きな関心を持ち、地域社会および国際社会に貢献できる人材を育成します。

◆学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

長崎県立大学は、上記の大学理念と教育目標を意欲的に実現する次のような学生を求めています。

- 人や自然を尊重できる人
- 何事にも好奇心を持ち、積極的に挑戦したいと考えている人
- 目的をもって、忍耐強く努力したいと思っている人
- 長崎の歴史・文化や地域的特性に関心を持っている人
- 地域社会や国際社会に貢献したいと考えている人

(2) 経営学部

【教育目標】

経営学部では、現代の国内外の企業経営に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で経営上の課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 経営に関する専門的・総合的な視野を備え、企業の経営における様々な課題を理解し、分析・解決できる人材
- 外国語を用いたコミュニケーション能力と国際的な視野を備え、グローバルに活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

経営学部では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

- 企業の仕組み、マーケティング、簿記・会計などに関心を持つ人
- 国際的に展開する企業活動や、日本企業の現場の仕組みに関心を持つ人
- 企画力と課題解決能力を学び、チームで良質な製品・商品・サービスを顧客に提供することに強い関心を持つ人
- 外国語を用いて、グローバルに活躍するビジネスパーソンを目指す人

<p>経営学 科</p>	<p>【教育目標】</p> <p>経営学科では、現代の企業経営に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で様々な企業の課題に主体的に対応できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経営、マーケティング、金融等に関する知識・知見を有し、企業の各分野において活躍できる人材 ○会計、簿記、税法等に関する専門的知識をもとに、企業や団体の経理部門で活躍できる人材 ○経営、会計等に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材 <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</p> <p>経営学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経営に関する専門知識を学び、企業を立ち上げたり、企業の成長に貢献したい人 ●マーケティング・流通に関する専門知識を学び、小売・サービス・金融・運輸などの分野で活躍したい人 ●会計の専門的知識を学び、税理士や企業の経理部門で活躍したい人 ●経営に関する企画・立案能力を高めて、企業や地域社会の成長に貢献したい人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>経営学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般入試（前期日程） <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科4科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●一般入試（後期日程） <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科4科目）を課すとともに、小論文で、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●推薦入試（アカウンティングコース） <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●推薦入試 <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する
--------------	--

	<p>る専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会人入試 <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
<p>国際経営学科</p>	<p>【教育目標】</p> <p>国際経営学科では、現代の企業経営に必要な知識・知見と実践力及び国際的な経営感覚を身に付け、グローバルな視点で様々な企業の課題に主体的に対応できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <p>○経営に関する知識・知見及び外国語を用いたコミュニケーション能力を有し、東アジア地域をはじめ海外展開をする企業や団体に活躍できる人材</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</p> <p>国際経営学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●語学力向上に意欲を持ち、国際社会の中で活躍したい人 ●国際的な経営に関する専門知識を学び、グローバルに活動する企業で活躍したい人 ●他国の人も協働しながら経営に関する企画・立案能力を高めて、国際社会の成長に貢献したい人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>国際経営学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般入試（前期日程） <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科4科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●一般入試（後期日程） <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科4科目）を課すとともに、小論文で課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●推薦入試 <ul style="list-style-type: none"> 個別学力検査等（英語）で、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

(3) 地域創造学部

【教育目標】

地域創造学部では、地域の発展に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で地域の課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 地域社会や地域経済が抱える様々な課題を専門的、総合的視野に立って理解し、分析・解決できる人材
- リーダーシップを有し、他者と協働して地域社会や地域経済のあり方を創造できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

地域創造学部では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

- 地域社会や地域経済の課題に関心を持ち、その課題解決方法を学びたい人
- 積極的に地域に入って、課題の発見や分析を行いたい人
- 他者と協働してよりよい地域社会や地域経済を創造したい人

公 共 政 策 学 科	<p>【教育目標】</p> <p>公共政策学科では、公共という視点に立って、政策の企画・立案及び評価に関する知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で地域の政策課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共政策に関する知識・知見を有し、地方自治体等において活躍できる人材 ○公共政策に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材 <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</p> <p>公共政策学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域や私たちの身の回りのさまざまな政策課題について習得した知識を活かして、地域の豊かな暮らしの構築に向けて貢献したい人 ●政策の企画・立案について習得した知識を活かして、行政や民間企業で活躍したい人 ●地域の諸問題を分析・考察するための知識やスキルを活用して、地域づくりに貢献したい人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>公共政策学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般入試（前期日程） <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科5科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語又は数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●一般入試（後期日程） <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科5科目）を課すとともに、小論文で、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●推薦入試（県内離島高校区分） <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●推薦入試 <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科5科目）を課すとともに、面接により、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力
-------------	---

	<p>等を評価します。</p> <p>面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> <p>●私費外国人留学生入試</p> <p>小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p>
実践経済学科	<p>【教育目標】</p> <p>実践経済学科では、企業活動における企画・立案能力を有し、地域経済の動向を分析しその発展に寄与できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <p>○経済学や地域経済に関する知識・知見を有し、地域企業において活躍できる人材</p> <p>○経済学や地域経済に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</p> <p>実践経済学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域経済や企業の動向などの分析に関心を持つ人 ●地域社会や企業において経済に関する実践的なスキルを活かして活躍したい人 ●経済学分野の実践的能力や立案能力を要する職種で活躍したい人 ●企業の国内外における取引や事業等においてグローバルな経済活動を目指す人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>実践経済学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <p>●一般入試（前期日程）</p> <p>基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科5科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語又は数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>●一般入試（後期日程）</p> <p>基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科5科目）を課すとともに、小論文で課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>●推薦入試</p> <p>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> <p>●帰国子女入試</p> <p>小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> <p>●社会人入試</p> <p>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> <p>●私費外国人留学生入試</p> <p>小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p>

(4) 国際社会学部

【教育目標】

国際社会学部では、国際社会及びメディアに関する知識と実践力を身に付け、グローバルな視野での課題解決能力及び情報発信能力を有する人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 政治、経済、社会をグローバルな視野でとらえ、地域社会や国際社会で活躍できる人材
- 高いコミュニケーション能力と情報収集・分析及び批判的・論理的思考能力を備え、自治体や企業の国際部門・マスコミ・多国籍企業等で活躍できる人材
- 東アジア地域に対する広い知見を深め、東アジア諸国を中心とした国際交流の推進や社会の発展に寄与できる人材
- 国際社会に関する知識を有し、教員として活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

国際社会学部では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

- 国際政治や経済など国際社会の諸事象や仕組みについて幅広い関心を持つ人
- グローバル化する現代社会における諸問題を解決しようとする意欲を持つ人
- 現代社会におけるメディアに関心を持ち、社会の様々な出来事に対して自らの考えを論理的に展開できる人
- 東アジアに関心を持ち、東アジア諸国を中心とした国際交流の推進に貢献したい人
- 英語や中国語などの外国語による高いコミュニケーション能力を習得する意欲を持つ人

国際社会学科

【入学者選抜の基本方針】

国際社会学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、アドミッション・オフィス入試、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。

●一般入試（前期日程、後期日程）

基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科5科目又は6科目、又は5教科5科目又は6科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

●アドミッション・オフィス入試（AO入試）

第1次選考では、出願書類に基づき、学科が求める学生像に合致しているか、学科を志望する理由が明確であるか、入学後の学習意欲や将来の展望が的確に示されているか、などの観点から評価します。

第2次選考では、小論文で課題に対する理解力、論理的思考力、表現力などの能力をみて、面接で出願書類を参考に、目的意識、学習意欲、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。

●推薦入試

小論文では、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●帰国子女入試

小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●社会人入試

小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●私費外国人留学生入試

小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

	面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
--	---

(5) 情報システム学部

【教育目標】

情報システム学部では、情報システムに関する知識と実践力を身に付け、高度情報化社会における課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材
- 感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使して創造的デザイン分野で活躍できる人材
- 情報セキュリティに関する知識や技術を有し、情報セキュリティ分野で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

情報システム学部では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

- 情報技術や情報セキュリティ技術に強い関心を持つ人
- 高度情報化社会における諸問題について解決を図ろうとする意欲を持つ人

情報システム学科	<p>【教育目標】</p> <p>情報システム学科では、情報システムに関する広い視野と知識を備え、システム開発のプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材 ○感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使してデザイン分野で活躍できる人材 <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</p> <p>情報システム学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Web、モバイル、ネットワークなどの情報技術に強い関心を持つ人 ●プログラミングやシステム構築などにより問題解決を図ろうとする意欲を持つ人 ●多様な情報メディアを活用して、コンテンツを制作する知識を深め、技術や感性を高めたい人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>情報システム学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般入試（前期日程、後期日程） <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●推薦入試 <ul style="list-style-type: none"> 小論文では、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 <ul style="list-style-type: none"> 本学科が示す要件等をすべて満たしていることを条件に、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
----------	---

【教育目標】

情報セキュリティ学科では、情報セキュリティ全般にわたる広い視野と知識を備え、情報セキュリティのプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。
○情報セキュリティに関する知識や技術を有し、企業や行政などの情報セキュリティ分野で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

情報セキュリティ学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

- 情報セキュリティに関する基本的な知識・技術を修得し、情報セキュリティ分野で活躍したい人
- We b、モバイル、ネットワークなどの情報技術に強い関心を持つ人
- プログラミングやシステム構築などにより問題解決を図ろうとする意欲を持つ人

【入学者選抜の基本方針】

情報セキュリティ学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。

- 一般入試（前期日程、後期日程）
基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科6科目）を課すとともに、個別学力検査等（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。
- 推薦入試
小論文では、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。
面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
- 帰国子女入試
小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。
面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
- 社会人入試
小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。
面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
- 私費外国人留学生入試
本学科が示す要件等をすべて満たしていることを条件に、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

(6) 看護栄養学部

【教育目標】

看護栄養学部では、人々の健康な生活を支援するため、豊富な科学的・専門的知識の修得と、あらゆる年齢層のさまざまな健康状態の人々と接することができる豊かな人間性を持つ人材の育成を目指すとともに、健康科学の基礎と応用を総合化した教育研究を推進することにより、実践的問題解決能力を養い、地域の保健・医療活動を通して、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 看護師または管理栄養士として、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材
- 保健・医療・福祉の分野で、他職種と協働して専門的能力を発揮できる人材
- 看護の知識や技術が豊富な養護教諭または子どもたちの食育を担う栄養教諭として、教育現場で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

看護栄養学部では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

- いのちの尊さを理解し、まじめに努力する人
- 人に対する思いやりを持ち、人の苦しみを共有できる人
- 科学を重視し、適確に物事を行える人
- 社会制度の変化に敏感かつ適正に対応できる人
- 協調性があり、他の職種の人々とチーム医療のできる人

看護学科	<p>【教育目標】</p> <p>看護学科では、生命の尊厳と人権を尊重し、人間を深く理解し根拠に基づき行動する看護師や養護教諭として活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人々の健康ニーズ(健康増進、疾病予防・早期発見、健康回復、安寧な人生の看取り)に対応できる基礎的看護実践能力を有する看護師 ○保健・医療・福祉の分野で看護サービスの質向上に寄与できるリーダーシップの基礎的能力を有する看護師 ○看護の専門性を備えた教育職として活躍できる養護教諭 <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</p> <p>看護学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●看護を通して、人々の健康生活に貢献したいと思っている人 ●物事を科学的に探究し、積極的・主体的に学ぶ姿勢がある人 ●看護学への学習意欲を持ち、専門性の高い看護職になりたいと希望している人 ●さまざまな世代の人々と、柔軟にコミュニケーションがとれる人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>看護学科では、一般入試（前期日程、後期日程）、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般入試（前期日程、後期日程） <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●推薦入試 <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●推薦入試（離島看護師特別枠） <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、
------	---

	<p>本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。</p> <p>●帰国子女入試</p> <p>小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。</p> <p>●社会人入試</p> <p>小論文で、高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。</p> <p>●私費外国人留学生入試</p> <p>面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、日本語による会話的表現力等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。</p>
--	--

【教育目標】

栄養健康学科では、健康社会実現のために社会の幅広い分野で貢献できる栄養専門家として活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 地域の人々の健康作りの担い手あるいは高齢社会の食を支える管理栄養士
- 特定給食施設あるいは臨床現場で他のスタッフと連携・協働して栄養マネジメント・アセスメントを実践できる管理栄養士
- 食品開発、食糧資源の有効利用、食品衛生管理者などの資格を活かせる管理栄養士
- 次世代社会の子どもたちの食育を担う栄養教諭

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

栄養健康学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

- 身近な「食と健康」を通して健康・福祉社会の創出に貢献したい人
- 保健・医療・健康分野や県や市町村などの管理栄養士を志す人
- 食品開発、食品の安全性や機能性などに興味を持っている人
- 子供たちの食育を通して健康生活づくりに寄与したい人
- 生命科学に根ざした「食と健康」を科学するスペシャリストになりたい人

【入学者選抜の基本方針】

栄養健康学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。

●一般入試（前期日程）

基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科7科目）を課すとともに、個別学力検査で、高等学校で得た化学の基本的な知識と理解力について評価します。

●一般入試（後期日程）

基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査（面接）で、志望動機や将来の展望などとともに、高等学校で得た基礎学力を前提とした栄養・健康・生命科学に関する時事的諸問題についての理解力や科学的思考などを総合的に問います。

●推薦入試

和文及び英文の小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。

面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に判断します。

●帰国子女入試

小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。英語に関する問題も含まれます。

面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。

●社会人入試

小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。英語に関する問題も含まれます。

面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。

●私費外国人留学生入試

学力試験では、化学の基本的な知識と理解力について評価します。

面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。

2. 募集人員

(単位：人)

区 分		募 集 人 員										
		経営学部			地域創造学部		国際社会学部	情報システム学部		看護栄養学部		
		経営学科	アカデミック コース	国際経営 学科	公共政策 学科	実践経済 学科	国際社会 学科	情報システム 学科	情報ロジスティクス 学科	看護学科	栄養健康 学科	
AO入試							5					
特別選抜 (推薦入試)	県内	普通科等	20	10	12	15	25	15	10	12	16 (普通科13 離島看護師 特別枠 2 衛生看護枠1) ※2	10
		商業科等	10			5						
		離島高校										
	県外	普通科等	10		8	10	15	4	2			
		商業科等	5									
一般入試	前期日程	70		30	(英) ^{※1} 40 (数) ^{※1} 20	(英) ^{※1} 40 (数) ^{※1} 25	30	20	20	38	24	
	後期日程	15		10	30	20	6	8	8	6	6	
特別選抜	帰国子女	若干名		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	
	社会人	若干名		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	
	私費外国人留学生	若干名		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	
学 科 計		140		60	120	130	60	40	40	60	40	
学 部 計		200			250		60	80		100		
合 計		690										

【地域創造学部】

※1 前期日程は「英語」又は「数学」で個別学力検査等を実施するものであり、出願時に選択を行う必要があります。

【看護栄養学部】

※2 看護学科の普通科とは衛生看護科以外の科をいいます。

【共通】

各学科の特別選抜（帰国子女、社会人、私費外国人留学生）の募集人員（若干名）は、各学科の募集人員の内数です。

3. 出願資格

平成28年度大学入試センター試験のうち、本学が指定する教科・科目（19～22 ページを参照）を受験した者で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成28年3月31日までに合格見込みの者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年3月31日までに18歳に達する者

※ 他大学において入学資格認定を受け、平成28年度大学入試センター試験に出願した者で、改めて本学へ出願を希望する者については、平成28年1月18日までに本学に入学資格認定申請を行い、入学資格認定を受ける必要があります。詳しくは本学学生支援課までお問い合わせください。

(注1) 本学が指定した大学入試センター試験の教科・科目を受験しなかった場合は、個別学力検査等を受験しても失格となります。また、外国語において「英語」を選択する者は、リスニングテストを必ず受験してください。

(注2) 前期日程、後期日程の両方に出願することができます。

(注3) 同一日程に属する他の国公立大学・学部への出願（いわゆる重願）はできません。

(注4) 他の国公立大学・学部（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）のAO入試及び推薦入試合格者は、本学に出願しても合格者となることはできません。ただし、入学辞退について当該大学の許可を得た場合は、この限りではありません。

4. 出願手続

(1) 出願期間

前期日程	平成28年1月25日（月）から2月3日（水）まで（消印有効）
後期日程	

(2) 出願方法

経営学部・地域創造学部は佐世保校へ、**国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部**はシーボルト校へ出願してください。出願書類等は出願用封筒（G票）を用いて、必ず「**簡易書留・速達**」で郵送してください。

なお、**出願期間の最終日までの消印があるもの**に限り受理します。

持参する場合の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとします。

※ 高等学校等が一括して提出する場合であっても、必ず志願者ごとに**出願用封筒（G票）**に入れ、上記出願期間内に提出してください。

(3) 出願先

【経営学部・地域創造学部】

〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123番地
長崎県立大学佐世保校 学生支援課学生グループ

【国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部】

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1
長崎県立大学シーボルト校 学生支援課学生グループ

(4) 出願書類等

○出願書類の「A票」「B票」「C票」「D票」は「経営学部・地域創造学部」及び「国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部」の様式があり、それぞれに「前期日程」及び「後期日程」の様式がありますので注意してください。

【経営学部・地域創造学部】 … 前期日程→**白色**、後期日程→**水色**
【国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部】 … 前期日程→**黄色**、後期日程→**橙色**

○出願書類の「E票」「F票」「G票」は全学部共通となっており、「前期日程」と「後期日程」の様式があります。

【宛名シール（E票）】 … 前期日程→**シール上部**、後期日程→**シール下部**
【封筒（F票、G票）】 … 前期日程→**黄色**、後期日程→**桃色**

書 類		作 成 方 法
A票	平成28年度 長崎県立大学 入学志願票	①本学所定の様式に、記入上の注意を参照のうえ、必要事項をみれなく記入してください。 ②成績請求票貼付欄には「 平成28センター試験成績請求票 」をはがれないようのり付けしてください。 ③出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真の裏面に志望学科、氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。（上半身、無帽、正面向き、縦4cm×横3cm）
B票	写真票	①本学所定の様式に、必要事項をみれなく記入してください。 ②出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真の裏面に志望学科、氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。（上半身、無帽、正面向き、縦4cm×横3cm）
C票	受験票	

(5) 出願上の注意事項

- ①出願書類がすべてそろっていない場合は受付できませんので、出願の際には十分確認してください。
- ②出願書類の記入に当たっては、楷書で正しく明確に記入してください。また、黒色のボールペンで記入してください。
- ③**経営学部・地域創造学部**については、同一学部内の他学科を第2志望学科として志望することができます。この場合には、選抜の結果、第2志望の学科の合格者となることがありますので、十分考慮してください。また、経営学科を志望し、第2志望で国際経営学科を志望する場合には、大学入試センター試験の「外国語」については、必ず英語を選択してください。
- ④入学志願票の併願大学（任意記入）欄は、志願者の動向を調査するために利用するもので、合否判定には関係ありません。
- ⑤「前期日程」及び「後期日程」の両方に出願することができますが、出願の際は、それぞれの出願書類をそろえて、別々に郵送してください。
- ⑥出願受付後は、記入事項の変更を認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、志望学部の学生支援課学生グループまで連絡してください。
- ⑦受験票は、出願受理後に本人あてに送付します。試験日の7日前までに受験票が届かない場合は、志望学部の学生支援課学生グループまでお問い合わせください。
- ⑧入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑨一度受理した出願書類は返却しません。
- ⑩既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ・出願書類を提出しなかった場合
 - ・出願が受理されなかった場合
 - ・二重に振り込んだ場合※ 上記理由による当該検定料相当額の返還の申し出は、出願期間の最終日から40日以内とします。

5. 個別学力検査等

入学者の選抜は、大学入試センター試験と個別学力検査等の成績及び出願書類の内容を総合的に判定して行います。

(1) 個別学力検査等の期日、科目、試験時間

前期日程 平成28年 2月25日(木)

試験場	学部	学 科	試 験 科 目 及 び 試 験 時 間	
佐世保校	経営	経営 国際経営	英 語 10:00 ~ 11:30 (90分)	
	地域 創造	公共政策 実践経済	英語または数学 10:00 ~ 11:30 (90分)	
シーボルト校	国際 社会	国際社会	英 語 10:00 ~ 11:30 (90分)	
	情報 システム	情報システム 情報セキュリティ	数 学 10:00 ~ 11:30 (90分)	
	看護 栄養	看護	小 論 文 10:00 ~ 11:30 (90分)	面 接 12:30 ~ 17:00 (予定)
		栄養健康	化学基礎・化学 10:00 ~ 11:30 (90分)	

後期日程 平成28年 3月12日(土)

試験場	学部	学 科	試 験 科 目 及 び 試 験 時 間	
佐世保校	経営	経営 国際経営	小 論 文 10:00 ~ 11:30 (90分)	
	地域 創造	公共政策 実践経済	小 論 文 10:00 ~ 11:30 (90分)	
シーボルト校	国際 社会	国際社会	英 語 10:00 ~ 11:30 (90分)	
	情報 システム	情報システム 情報セキュリティ	数 学 10:00 ~ 11:30 (90分)	
	看護 栄養	看護	小 論 文 10:00 ~ 11:30 (90分)	面 接 12:30 ~ 17:00 (予定)
		栄養健康	面 接 12:30 ~ 17:00 (予定)	

(2) 個別学力検査等会場

経営学部・地域創造学部： 佐世保校（長崎県佐世保市川下町123番地）

国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部：

シーボルト校（長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1）

※学部によって試験場が異なりますので、裏表紙の「試験場案内」をよく確認してください。

(3) 大学入試センター試験の利用教科・科目及び個別学力検査等

各学部、学科の科目の利用方法については23ページの注意事項で確認してください。

経営学部

○経営学科 (前期日程)

大学入試センター試験（4教科4科目）						個別学力検査等	
教科	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語		
科目	国語	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済 から1科目	数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ・数学B から1科目		英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語 から1科目	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、 英語表現Ⅱ)	合計
配点	200	100	100		200	200	800

(後期日程)

大学入試センター試験（4教科4科目）						個別学力検査等	
教科	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語		
科目	国語	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済 から1科目	数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ・数学B から1科目		英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語 から1科目	小論文 (高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力を評価する試験問題)	合計
配点	200	100	100		200	100	700

○国際経営学科 (前期日程)

大学入試センター試験（4教科4科目）						個別学力検査等	
教科	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語		
科目	国語	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済 から1科目	数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ・数学B から1科目		英語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、 英語表現Ⅱ)	合計
配点	200	100	100		250	200	850

(後期日程)

大学入試センター試験（4教科4科目）						個別学力検査等	合計
教科	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語		
科目	国語	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済 から1科目	数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ・数学B から1科目		英語	小論文 (高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力を評価する試験問題)	
配点	200	100	100		250	100	750

地域創造学部

○公共政策学科・実践経済学科 共通

(前期日程)

大学入試センター試験（4教科5科目）						個別学力検査等	合計
教科	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語		
科目	国語	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済 から1科目	数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ・数学B		英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語 から1科目	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、 英語表現Ⅱ) 又は 数学 (数Ⅰ、数Ⅱ、数A、 数B) *数Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とする。	
配点	200	200	200		200	200	1000

(後期日程)

大学入試センター試験（4教科5科目）						個別学力検査等	合計
教科	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語		
科目	国語	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済 から1科目	数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ・数学B		英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語 から1科目	小論文 (高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力を評価する試験問題)	
配点	200	200	200		200	100	900

国際社会学部

○国際社会学科

(前期日程・後期日程)

大学入試センター試験（4教科5科目又は6科目）又は（5教科5科目又は6科目）						個別学力 検査等	合計
教科	国語	地理歴史・公民	数学※	理科※	外国語		
科目	国語	世界史B 日本史B 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済 から2科目	数学I・数学A 数学II・数学B から1科目	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎 から2科目 または 物理 化学 生物 地学 から1科目	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語 から1科目	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	
配点	200	100	※数学・理科から選択 100		250	200	850

情報システム学部

○情報システム学科

(前期日程・後期日程)

大学入試センター試験（5教科6科目又は7科目）						個別学力 検査等	合計
教科	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語		
科目	国語	世界史B 日本史B 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済 から1科目	数学I・数学A 数学II・数学B	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎 から2科目 または 物理 化学 生物 地学 から1科目	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語 から1科目	数学(数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B) ※数Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とする。	
配点	200	100	200	100	250	200	1050

○情報セキュリティ学科

(前期日程・後期日程)

大学入試センター試験（5教科6科目）						個別学力 検査等	合計
教科	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語		
科目	国語	世界史B 日本史B 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済 から1科目	数学I・数学A 数学II・数学B	物理 化学 生物 地学 から1科目	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語 から1科目	数学(数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B) ※数Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とする。	
配点	200	100	200	100	250	200	1050

看護栄養学部

○看護学科

(前期日程・後期日程)

大学入試センター試験 (5教科6科目又は7科目)						個別学力検査等		合計
教科	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	小論文 (高等学校の一般的学習を前提として、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を問う記述試験する。)	面接 (調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを評価する。)	
科目	国語	世界史B 日本史B 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済 から1科目	数学I・数学A 数学II・数学B	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎 から2科目 または 物理 化学 生物 から1科目	英語			
配点	200	100	200	100	200	200	100	1100

○栄養健康学科

(前期日程)

大学入試センター試験 (5教科7科目)						個別学力検査等		合計
教科	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	化学基礎 ・ 化学		
科目	国語	世界史B 日本史B 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済 から1科目	数学I・数学A 数学II・数学B	物理 化学 生物 地学 から2科目	英語			
配点	200	100	200	200	200	200		1100

(後期日程)

大学入試センター試験 (5教科6科目又は7科目)						個別学力検査等		合計
教科	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	面接 (志望動機や将来の展望などと ともに、高等学校で得た基礎学力を前提とした栄養・健康・生命科学に関する時事的諸問題についての理解力や科学的思考などを総合的に問う。)		
科目	国語	世界史B 日本史B 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済 から1科目	数学I・数学A 数学II・数学B	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎 から2科目 または 物理 化学 生物 地学 から1科目	英語			
配点	200	100	200	200	200	200		1100

【注意事項】

①大学入試センター試験の利用方法について

経営学科	「数学」について、2科目受験した場合はいずれか高得点の科目を合否判定に用います。
	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「外国語」の英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）を200点満点に換算し、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の得点は200点満点をそのまま利用します。
国際経営学科	「数学」について、2科目受験した場合はいずれか高得点の科目を合否判定に用います。
	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
公共政策学科 実践経済学科	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用い、100点満点を200点満点に換算します。
	「外国語」の英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）を200点満点に換算し、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の得点は200点満点をそのまま利用します。
国際社会学科	「数学」・「理科」について、2教科受験した場合はいずれか高得点の教科を合否判定に用います。
	「数学」について、2科目受験した場合はいずれか高得点の科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付す科目（100点（50点×2）満点）と基礎を付さない科目（100点満点）を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に用います。
	「外国語」の英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）をそのまま利用し、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の得点は200点満点を250点満点に換算します。
情報システム学 科	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付す科目（100点（50点×2）満点）と基礎を付さない科目（100点満点）を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に用います。
	「外国語」の英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）をそのまま利用し、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の得点は200点満点を250点満点に換算します。
情報セキュリ ティ学科	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「外国語」の英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）をそのまま利用し、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の得点は200点満点を250点満点に換算します。
看護学科	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付す科目（100点（50点×2）満点）と基礎を付さない科目（100点満点）を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に用います。
	「外国語」の英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）を200点満点に換算します。
栄養健康学科 （前期日程）	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「外国語」の英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）を200点満点に換算します。
栄養健康学科 （後期日程）	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用い、100点満点を200点満点に換算します。
	「理科」の基礎を付す科目（100点（50点×2）満点）と基礎を付さない科目（100点満点）を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に用い、100点満点を200点満点に換算します。
	「外国語」の英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）を200点満点に換算します。

- ②「外国語」の英語を受験する者は、リスニングテストを必ず受験してください。
- ③大学入試センター試験の「地理歴史、公民」または「理科」の基礎を付さない科目について、2科目を受験した場合、本学部・学科が受験科目数を1科目と指定しているものに関しては、第1解答科目の得点を採用します。
- ④栄養健康学科の個別学力検査等（前期日程）の化学基礎・化学は、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題する場合があります。必ず使用するとは限りません。また、入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。

<http://www.nyushikakomon.jp/>

(4) 受験上の注意事項

- ①受験者は、試験開始時刻20分前までに指定された教室に入室し、着席してください。
- ②面接がある学科（前期日程：**看護学科**、後期日程：**看護学科**及び**栄養健康学科**）については面接開始時刻までに、決められた面接控室に集合し、待機してください。
- ③筆記試験開始後は、20分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ④個別学力検査等において、本学が指定した科目等をすべて受験しなかった者は入学者選抜の対象から除きます。
- ⑤当日は、**大学入試センター試験受験票**及び**本学受験票**を必ず持参してください。
- ⑥当日に受験票を忘れた者は、試験場所定の仮受験票発行受付で仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は、入学手続の際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。
- ⑦受験票は、筆記試験時に試験監督者に明示できるよう机の上に置いてください。
- ⑧試験時間中に使用を許可するものは、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のみのも）に限ります。
- ⑨試験室内での発言は、必ず挙手をして、監督者の許可を得て行ってください。
- ⑩試験時間内の退室は認めません。なお、発病等やむを得ない場合は、挙手をして監督者の指示に従ってください。
- ⑪携帯電話等の電子機器は、教室に入る前に電源を必ず切りかばん等に入れてください。
- ⑫試験室内で英文字、地図等がプリントされている衣服等、試験実施に影響を与えるものを着用している場合は、必要に応じ脱衣等の指示に従っていただきます。
- ⑬不正行為をした者及び監督者の指示に従わない者は、直ちに退場させます。なお、その場合、失格になることがあります。
- ⑭試験中における受験者間の物品の貸借は一切認めません。
- ⑮試験場では、昼食の販売を行いませんので、各自で準備してください。
- ⑯試験場には、受験者用駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。
- ⑰試験前日の午後限り試験場の下見はできますが、建物内への立ち入りはできません。
- ⑱その他必要な事項が生じた場合には、受験票送付の際に併せて通知します。

6. 合格発表

前期日程	平成28年 3月 5日 (土)	午前10時
後期日程	平成28年 3月 21日 (月)	午前10時

経営学部・地域創造学部は佐世保校の本館玄関前ロビー掲示板に、**国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部**はシーボルト校本部棟1階学生支援課前の掲示板に、合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者については合格通知書をその日に速達で発送します。また、本学ホームページ上にも合格者の受験番号を掲載します。なお、電話での問い合わせには、一切応じません。

《ホームページアドレス》 <http://sun.ac.jp/>

※ ホームページ上の合格発表は補助的なサービスです。必ず合格通知書で確認してください。

7. 入学手続

(1) 入学手続期間

前期日程	平成28年 3月 6日 (日) から3月15日 (火)	必着
後期日程	平成28年 3月 22日 (火) から3月27日 (日)	必着

(2) 入学手続先

【**経営学部・地域創造学部**】 〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123番地
長崎県立大学佐世保校 学生支援課学生グループ

【**国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部**】

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1
長崎県立大学シーボルト校 学生支援課学生グループ

(3) 入学手続方法

- ①入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。
- ②提出書類は郵送又は大学窓口へ直接持参してください。
- ③入学手続の際は「**平成28年度大学入試センター試験受験票**」の提出が必要です。(大学入試センター試験受験票は入学手続完了後、返却します。)
- ④郵送の場合は、必ず「書留速達」とし、入学手続期間内必着とします。
- ⑤持参の場合の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとします。
- ⑥一度受理した入学手続き書類は返還しません。(平成28年度大学入試センター試験受験票を除く)

(4) 入学手続上の留意事項

- ①本学の前期日程に合格し、入学手続を行った者は、他の国公立大学の後期日程を受験してもその合格者となることはできません。
- ②**合格者が入学手続期間内に手続を完了しないときは、入学を辞退したものと取り扱います。**
- ③本学への入学手続を完了した後、これを取消して他の国公立大学への入学手続をとることはできません。(ただし、入学手続をした者でも、3月15日(火)午後5時までに入学辞退を申し出て、本学の許可を得た場合は、この限りではありません。)
- ④他の国公立大学へ既に入学手続を完了した者は、これを取消して本学への入学手続をとることはできません。

8. 追加合格

平成28年3月27日（日）の後期日程入学手続締切日において、欠員が生じた場合には、平成28年3月28日（月）以降に合格者を追加します。

追加合格者の通知は、平成28年3月28日（月）から平成28年3月31日（木）までに本人あてに電話で行いますので、速やかに連絡がとれるように、また入学の意思について回答できるようにしておいてください。

追加合格実施については、本学ホームページで案内します。

9. 身体に障害のある入学志願者との協議

身体に障害のある入学志願者で、受験上又は修学上特別な配慮を希望する者は、平成28年2月3日（水）までに学生支援課学生グループに申し出てください。

なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる出身学校関係者との面接や医師の診断書等の提出をお願いすることがあります。

10. 初年度納付金等 《保護者の方にも目を通してもらってください》

(1) 入学料

県内生	「県内生」とは、本人又はその配偶者若しくは一親等の血族が、平成27年4月1日から引き続き長崎県内に住所を有する者をいいます。	176,500円
県外生	上記以外の者をいいます。	353,000円

(注1) 入学料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

(注2) 入学料は、入学手続期間内に納付してください。

※前期日程：平成28年3月6日～3月15日、後期日程：平成28年3月22日～3月27日

(注3) 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

(2) 授業料

前 期	後 期	年 額
267,900円	267,900円	535,800円

(注1) 授業料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

(注2) 授業料は入学後に納付していただきます。詳細については、入学手続書類とともに送付します。

(注3) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) その他納付金

学 部	後援会費	同窓会費	学生自治会費	学生保険料
経 営 地域創造	50,000円	12,000円	33,000円	4,660円
国際社会 情報システム 看護栄養	50,000円	10,000円	29,500円	4,660円～

(注) その他納付金の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

(4) 入学料、授業料及びその他納付金以外の経費（参考）

入学料、授業料及びその他納付金以外に、1年次又は2年次以降に次の経費が必要となります。（納付時期等の詳細については入学後に説明します。）

①進級、卒業要件に係る資格試験等受験料（TOEIC、日経 TEST 等） 約 3,500 円～/回

②必修となる研修、課外講座等の費用

・経営学部 経営学科（アカウンティングコース）

Web 講座（1年次）、税理士試験対策講座（2、3年次） 約 120,000 円～/年

・経営学部 国際経営学科

海外語学研修（1年次）、海外ビジネス研修（3年次） 約 200,000 円～/年

（場所、期間により異なる）

・国際社会学部 国際社会学科

海外語学研修（2年次） 約 200,000 円～（場所、期間により異なる）

③実験、実習等の費用

④国際社会学部及び情報システム学部入学者全員に一定の基準にあったノート型パソコンを準備していただく予定です。（詳細は入学後に説明します。）

1 1. 奨学金、授業料の減免等

(1) 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構が貸与する奨学金には、第一種奨学金（無利子貸与）と第二種奨学金（有利子貸与）があり、その貸与月額は、次表のとおりとなっています。第二種奨学金の貸与を受けた者は、その貸与額に対し年3%（上限金利）の利息がつくことになっています。この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

種 類	貸 与 月 額（平成27年度実績）				
	自宅通学者		自宅外通学者		
第一種奨学金	30,000 円	45,000 円	30,000 円	51,000 円	
	（2種類から選択）		（2種類から選択）		
第二種奨学金	30,000 円	50,000 円	80,000 円	100,000 円	120,000 円
	（5種類から選択）				

(2) 授業料の減免

学業優秀と認められた学生で、家庭の経済事情（生活保護家庭等）又は不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生に対する授業料の減免制度があります。

(3) 成績優秀入学者奨学金（県内生のみ対象）

一般入試（前期日程）の成績で、全学部の各学科上位1名の合計9名に対して、1人当たり18万円の奨学金を支給します。

奨学金の支給を受けたのちに入学を辞退した者は、支給された奨学金を返還していただきます。

（注）県内生とは、「10. 初年度納付金等（1）入学料」（26ページ）の県内生に該当する者をさします。

(4) その他

下宿・アパートについては、本学大学生活協同組合で相談に応じます。

佐世保校 大学生協 TEL 0956-48-3732

シーボルト校 大学生協 TEL 095-887-5552

12. 個別の入学資格審査

出願資格（8）にかかる本学の入学資格審査の対象者等は以下のとおりです。

なお、入学資格審査の申請手続等の詳細については、経営学部・地域創造学部は佐世保校、国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部はシーボルト校学生支援課学生グループへお尋ねください。

(1) 入学資格審査の対象者

平成28年3月31日までに18歳に達する者で次のいずれかに該当する者

- ①高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者、又は平成28年3月31日までに卒業見込みの者
- ②中学校卒業で、各種の学校等における学習歴及び社会における実務経験等が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者で、一般入試を志願する者

(2) 申請締切日

平成28年1月18日（月）必着

13. 入試情報開示

(1) 出願状況

平成28年度一般入試の出願状況は平成28年1月29日（金）より本学ホームページ上で公開します。

《ホームページアドレス》 <http://sun.ac.jp/>

(2) 個人成績の開示

平成28年度一般入試受験者の個人成績を受験者本人に限り開示します。

- 申請期間 平成28年5月2日（月）から平成28年5月31日（火）まで
（平日の午前9時から午後5時まで）

- 申請方法 **経営学部・地域創造学部**は佐世保校、**国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部**はシーボルト校の学生支援課窓口で、所定の用紙により申請してください。（本人を確認する書類等の提示が必要です。）

- 開示内容 ① 大学入試センター試験の教科ごとの得点
（本学が判定に使用した教科のみ）
 - ② 個別学力検査等の得点
 - ③ ①+②の総得点及び順位
 - ④ 調査書（「指導上の参考となる諸事項」及び「備考」欄を除く）

(3) 合格者の成績

平成28年度一般入試における合格者の得点の最高点、最低点、平均点を平成28年5月2日（月）から開示します。ただし、合格者が10名未満の学科・日程区分については、開示しません。

(4) 前年度の入試状況

学部	学科	日程	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
看護栄養	看護	前期	38	119	115	40	36
		後期	6	171	72	13	11
	栄養健康	前期	24	70	67	24	20
		後期	6	61	24	13	11

14. 採点・評価基準及び合否判定基準

(前期日程)

学部	学科	科目等	採点・評価基準	合否判定基準
経営	経営 国際経営	英語	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、同順位とする。
地域創造	公共政策 実践経済	英語 または 数学	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、同順位とする。
国際社会	国際社会	英語	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、同順位とする。
情報システム	情報システム 情報セキュリティ	数学	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	
看護栄養	看護	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、次の順序で決定する。 ① 個別学力検査等の小論文の得点が上位の者 ② 個別学力検査等の面接の得点が上位の者
		面接	調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価する。 面接は個人面接を行う。	
	栄養健康	化学基礎・ 化学	化学の基本的な知識と理解力について評価する。	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、次の順序で決定する。 ① 個別学力検査等の化学の得点が上位の者 ② 大学入試センター試験の理科の得点が上位の者

(後期日程)

学部	学科	科目等	採点・評価基準	合否判定基準
経営	経営 国際経営	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、同順位とする。
地域創造	公共政策 実践経済	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、同順位とする。
国際社会	国際社会	英語	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、同順位とする。
情報システム	情報システム 情報セキュリティ	数学	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	
看護栄養	看護	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、次の順序で決定する。 ①個別学力検査等の小論文の得点が上位の者 ②個別学力検査等の面接の得点が上位の者
		面接	調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価する。 面接は個人面接を行う。	
	栄養健康	面接	志望動機や将来の展望などとともに、高等学校で得た基礎学力を前提とした栄養・健康・生命科学に関する時事的諸問題についての理解力や科学的思考などを総合的に問う。 面接は、集団または個人面接を行う。	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 (2) 同点の場合は、次の順序で決定する。 ①個別学力検査等の面接の得点が上位の者 ②大学入試センター試験の理科の得点が上位の者